

謹 賀 新 年

contents

1. Y U Wanna Press Us 04

lyric, composed by Pizzi Puty

2. Happy Jam Year New

lyric, composed by Pizzi Puty

3. Punk It !

lyric, composed by Pizzi Puty

4. CD"Pizzi Puty2" 予告編 type A

5. Super High

lyric, composed by Pizzi Puty

DSWN-050101

© 2005 digital studio "What's new?"

非売品



digital studio
"What's new?"

<http://www.whats-new.ne.jp/>

OCPL 33213 0.4 α
*track 1, 2, 3

OCPL 00000 0.4 α
*track 4, 5

25.Jan.2005 - 24.Jan.2006

OCPL : <http://www.opencreation.org/>
contact : info@whats-new.ne.jp



funky!



Pizzi Puty
Magazine

1
2005 Jan.

interview

6つの質問

クリスタル花子独占メールインタビュー

text : ichiro tetsuo (digital studio "What's new?")

約十年前に存在した伝説のバンド "PUBLIC JAM JAM"。Pizzi Puty が "Bobby"と呼ばれていたこの頃からのファンで、この Pizzi Puty Magazine に連載コラムを書いて頂いているクリスタル花子さんにメールでインタビューしました。

Q1. Pizzi Puty Magazine 11月号を聴いた感想は?

クリスタル花子: 聴いて…そーですね、一曲目"Check fuse NBA ver." はJAMJAM時代に彼の得意の宇宙語で歌っていた懐かしの…と言いたい所が、えええ〜っ!!ってな位アレンジされてびっくりです。昔のもスキだけど…二曲目"Center World"は、思わずニヤけてしまいました。「あんたもスキねえ☆」と…。三曲目"Change"、これも彼の好みが浮き彫りになっている感じがしますねえ。全体通して「俺サマ健在くさ!」みたいな…私としては「北九弁講座」のみタップリ入ったCDも欲しいですが(笑)

(裏へ続く)

Q2. (完成直前の) Pizzi Puty Magazine 1月号を聴いた感想は?

クリスタル花子:「来たな!!」—発目からやってくれましたねー!この"Y U Wanna Press Us 04"もJAMJAM時代の曲で何度かアレンジされていますが、このバージョンが私的にはピカイチかと思われます。うまいですねえ。二曲目"Happy Jam Year New",これも彼の一人三役オイシいなあ…女声(ファルセット)ほんと、そこの女の子より女っばいでもんね。さすがオカマミュージシャン…って、いやほんとと真似できないっす!三曲目"Punk It"は…もうあの一、この人は日本人じゃないですから…(笑)っていうコメントで!



Q3. Pizzi Putyとはどんな人物なんですか?

クリスタル花子:バンクで音楽に目覚めた私がバンクを聴かなくなった要因の人物!ですねえ。大へげさですが人生変わっちゃったんで…どんな生き様、どんな死に様をしてくれるか見させてもらいたい人ですねえ。

Q4. Pizzi Putyの特徴は?

クリスタル花子:特徴…冷やゴハンだけは絶対食べないオカマ系スライの再来…!とか?うーん、二度と同じギターソロはできんやろう系?とか…一貫して歌詞は前向きですね。最近よくある意味わからん詞とか暗い内容の歌はないよう(笑)系ですかね。

Q5. Public Jam Jam時代と今の音楽性の違いは?

クリスタル花子:Pizzi PutyとJAMJAMの違い…JAMJAMはバンドだったから、Pizzi Putyを肉とするならばJAMJAMはじゃがいも、人参、玉葱…といった感じでしょうか。そしてJAMJAMの中でのポビーは“カレー粉”という存在ですね。そうしてまとまっていたような…でも私的には野菜の魅力も不可欠だし、忘れられないバンドですね。語るにおこがましい程です!

Q6. 今後のPizzi Putyに対する希望は?

クリスタル花子:世界に出て欲しいですね。アジア、アメリカのみならずアフリカ、インドとかでもワールドピースを叫んでもらえたら…あとプリンスとのセッション、これは外せない所です!グラミー賞までとって〜とも思うけど、パパイヤ鈴木との親父ダンスーズで活躍っていうのもアリかな。やたらダンスうまいし…

プロフィール

大河ドラマ

文:びちぶてい夫

第二幕

生まれた

金の卵

野山を駆けまわる野生少年Pizzi

Puty。しかし実はこの幼少時代に隠れた才能を発揮していた。スーパーのカラオケ大会、豪華客船サンフラワー号でのカラオケコンテスト、町内会主催のものまねカラオケ大会etcetc。それらの大会を総ナメしていたのだ。その数なんと14回!ただナメたのは全て二等賞。なぜか二等以下もないのだが一等もなかった。

試練

中学生が抱くバンドマンの

イメージといえば、華やかでモテモテで熱い青春をエンジョイしている…。当時中3の彼も同様でミュージシャンになろうと心に決めた。

まずバンドでコピーしようと思ったのはなんと“スタービーワンダー”。(=レベル高過ぎ)当然同級生にバンドメンバーになれる者などいない。仕方なく彼は“独りバンド”活動を始め、結局青春期の大半を試練の時間に費やすことになった。華やかさは全く正反対の倉庫で、独りシコシコと……(自粛)。この時期ほどPizzi Putyを最強にした時間はなかったというより彼の目指す音楽のスタイルはまさにこの時確立したのだ

"Pizzi Puty"の劇的な人生を六部形式でお送りします

第一幕	誕生・運命の子	(0~3歳)	11月号
第二幕	金の卵・試練	(7~17歳)	1月号
第三幕	青春・持続	(20~34歳)	3月号
第四幕	ファンクマスターへの道	(35歳の春)	5月号
第五幕	栄光への階段(予定)	(36~50歳)	7月号
第六幕	ボロボロになるまで(仮)	(70~193歳)	9月号

コラム

『黒崎ファンタジー』

そう、あの日のライブハウス「マーカス」は野郎共の熱気でムンムンしていた。我も我もとステージ前に押し寄せ、そこには異常な程の期待が集まっていた。まばゆく熱い照明の中で歌うのは、後の Pizzi Puty である。その彼のライブを初めて見た私は、ただただ圧倒され、呆然と立ち尽くした。「プロだ、あの人はプロなんだ、いやプロに違いない…。」ステージでの彼は、もはや今までに見たどのバンドマンにもない世界観を出していて、なぜこのような人がこんな北九州の小さなライブハウスにいるのか疑問にさえ思った。おそらく大笑いしたであろう彼の得意なMCはるくすっぽ覚えていないのだが、「I WANNA KEEP U」を歌う横顔は十年たった今でも忘れられない。当然1ミリの迷いもなく、その日発売していた彼のバンドのテープを買い、テープが伸びるまで聴きまくった。その後バンドが解散するまでの一年間、黒崎でのライブは毎月欠かさず見に行った。一人でも、雨

の日も、次の日がたとえ追試でも…。常に最前列で見ていた私であるが、当時 Pizzi Puty と口をきいた事はほとんどなかった。私にとってカリスマミュージシャンとなった彼に気軽に声をかけるなど言語道断、打ち上げに行っても近づくと事もなく。それほど雲の上の存在だったのである。ちなみに現在では「その靴…右と左、反対に履いとうべい。」くらいは軽く言えるようになった。そんな~時代もあ~ったねと懐かしいような、微笑ましいような…(遠い目)

クリスタル花子(フリーライター)

プロフィール:1970年代生まれ、12才でバンクに出会い心の扉を開く、現在は自分のオタクさを世界平和に貢献させる道を模索中。

Pizzi Puty Magazine CD

平成17年 1月25日発行 (通巻2号)
1月号 発行部数 92部

編集長○鐵尾 一郎
編集○デジタルスタジオ・ワッツニュー
進行・校閲○鐵尾 一郎
撮影○鐵尾 一郎・魚住 耕司(mojiko.com)
制作協力○ファーデーズM

発行○デジタルスタジオ・ワッツニュー
住所○福岡県北九州市八幡西区黒崎5丁目5-48
パークハイツ黒崎II 103 〒806-0021
電話○093-622-4158
080-5502-1665
家真○ <http://www.whats-new.ne.jp/>
電子郵便○ info@whats-new.jp
発行人○鐵尾 一郎

digital studio
"What's new?"

びちぶていを応援してくれるお店です



スタジオ

スマイル

住所 北九州市小倉北区紺屋町7-17
ダイヤ会館3F
電話 093-511-8219
定休日 無
駐車場 無し(近くに¥100Pあり)
アクセス モノレール旦過駅 徒歩3分
ひとこと ファンキーでいきましよう(笑)